

<ちょこっとコラム 58>

(礼拝用語 その⑧)

神の小羊 *Agnus Dei*

陪餐の直前、司祭がパンを割いた後、「近づきの祈り」のすぐ後に用いられるのが「神の小羊の歌」です。7世紀頃ローマ教会で取り入れられたこの歌は、かつては司祭がパンを割く間に歌われていました。洗礼者ヨハネがイエスを見て思わず口にした言葉としてヨハネ福音書に記されています。(1:29, 36) イエスがわたしたちの罪を贖い、取り除くために十字架にかかれ、神にささげられた小羊であることを思い起こし、その体と血をいただいて弱いわたしたちに憐れみと平安が与えられるよう祈ります。